

報道関係各位

2024年12月16日

## 環境への配慮と高い作業効率を実現 電動パワーユニット搭載「移動式クレーン URW507C」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、電動パワーユニットを搭載した「移動式クレーン URW507C」のレンタルを、2024年12月16日(月)から開始いたします。



「移動式クレーン URW507C」は、環境への配慮と作業効率を両立させた機械です。電動パワーユニット併用仕様で、ディーゼルエンジンと電動モーターの切り替えも容易なため、多様な作業環境に柔軟に対応します。電動モーター使用時は、排気ガスゼロでエンジン騒音もないので、夜間の市街地や屋内での作業、都市部での使用に最適です。

また、7段ブームを採用することにより、最大地上揚程は約18.2m、最大作業半径は約17.83mと圧倒的に広い作業範囲を可能にしました。

アウトリガの操作は、従来のレバーに加え、液晶ラジコンでも行えるため、周囲の安全確認をしながら確実な設置ができます。

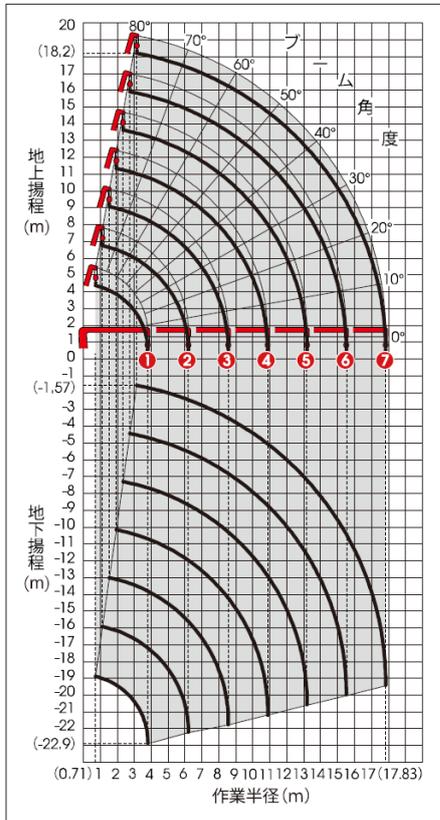
「移動式クレーン URW507C」は、高い機能と性能により、環境への配慮と高い作業効率を実現し、建設現場の安全性と生産性の向上に大きく貢献します。

アクティオは今後も「レンタルティンギ」のノウハウを活かし、脱炭素社会の実現に寄与する商品、および生産性向上に貢献する商品やサービスの提供をしていきます。

## ■「移動式クレーン URW507C」特長

- ①ディーゼルエンジンと電動パワーユニットの両方を搭載
- ②7段ブームにより広い作業範囲を実現
- ③アウトリガの横張出、格納は操作レバーだけでなく液晶ラジコンでも可能
- ④過負荷を防止するため、定格荷重を超えた場合にクレーンの作動を自動で停止する装置を搭載

## ■作業範囲図



## ■スペック [ ]の数値は電動パワーユニット使用時

メーカー	古河ユニック
型式	UR-W507C4MRA2
最大吊上荷重×作業半径 (t×m)	2.93×3.9
ブーム段数 (段)	7
最大作業半径 (m)	17.83
最大地上揚程 (m)	18.2
最大地下揚程 (m)	22.9
フック巻上速度(ロープ掛数 4) (m/min)	17(5層目) [8/10]
回転速度 (rpm)	2.5 [2/2.3]
走行速度 (km/h)	0~3 [0~1.3/0~1.5]
登坂能力 (度)	23(直進傾斜角にて)
クローラ接地圧 (kPa{kgf/cm <sup>2</sup> })	47.3{0.48} [48.7{0.50}]
燃料(軽油)タンク容量 (L)	40
寸法 (L×W×H) (mm)	4,955×1,380×1,980
アウトリガ最大張出幅 (mm)	5,940×5,900×5,720
質量 (kg)	5,070 [5,220]

※仕様内に/がある場合は、左が 50Hz、右が 60Hz の値となります。

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使

うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 産業機械事業部

TEL:03-6854-1416